CASBEE®かながわ

重点評価

						= ///	
				使月	用評価ソフト: CASBEE	-NCb 2008(v.3.2)	
1 総合評価の結果							
	建物名称	日神パレステージ小田急相模原フロント					
	BEE	1.4		В	EEランク B+	***	
2 重点項目への取組み度 劣る ふつう よい							
重点項	E .				評価	\longleftrightarrow	
	地球温暖化への配慮	地球温暖化	の主因であるユ 対策に関するエ	二酸化炭素の BD	スコア 4.9	44444	
				R F1	* * * * *		
	ヒートアイランド現象の緩和	ヒートアイラン (都市部の気	ノド現象 【温が周辺部】	:りも高くなる現象)	スコア 3.0	44444	
		を緩和する対	策に関する項	目	X47 616		
3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア							
	1 地球温暖化への配慮	レベル					
			LCCO2(ライ	フサイクルCO2)			
35	2計 資材製造 建設 運用 修繕 更新 解体	4.9	建設してかり	ら解体するまでの建築物	暖化の影響を計る方	イフサイクルと呼ぶ)で ためにCO2排出の量に換	
	LR2/2.1 材料使用量の削減	2	構造躯体用	部材の生産・加工段階	における廃棄物削減	咸の取組みを評価	
建設	LR2/2.2 既存建築躯体等の継続使用	3	既存の建築躯体の継続利用有無および範囲による評価				
	LR2/2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3		駆体材料へのリサイクル材利用を評価			
	Q1/2.1.3 外皮性能	2.7	の配慮の程 価	度および庇やブライント	*等を設けることによ	9への熱の侵入に対して はる日射遮蔽の程度を評	
運用	LR1/1 建物の熱負荷抑制	3	熱·気密機能	能を評価		物の基本性能として、断	
	自然エネルギー利用	3		ギーの直接利用(採光程 :陽熱など)の導入有無、		熱利用など)、変換利用	
	LR1/3 設備システムの高効率化	4.8	空調・換気・照明・給湯・昇降機によるエネルギー消費量の削減対策を評価 エネルギーの管理と制御によるエネルギー消費量の削減対策を評価				
	LR1/4 効率的運用						
修繕 更新 解体	Q2/2.2.1 躯体材料の耐用年数		構造躯体などに使用する材料の交換等大規模な改修工事を必要とするまでの 期間を伸張させるための対策の程度を評価				
	トアイランド現象の緩和	レベル					
Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上		4	熱的な悪影響を低減する対策(敷地内へ風を導く、緑地や水面を確保する、 建築設備による排気や排熱の位置等に配慮するなどの対策により暑熱環境を 緩和する)を評価				
LR3/2.2 温熱環境悪化の改善		2	音熱環境の事前調査、敷地外への熱的な影響を低減する対策、温熱環境悪化 改善の効果の確認に関する取組み度合い				
	項目	レベル					
LR2/1 節水	I.1	4	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	妇儿在今 口无短任			
即水 Q3/1			節水への取組み度合いを評価				
生物環境の保全と創出		2		保全と創出に関する配 保全、緑の量・質の確保			
主な指標および効果 自由記述 上 CCO。の削減率 25 % ・座間市における一連の再開発事業。計画地は相模銀座周辺まちご							
LCCO ₂ の削減率		25 %		ウェ ヘート・ー・ロードギ		は相模銀座周辺まちづくり協 辺環境へ配慮した街並み形	
PAL値	恒/省エネ対策等級(1~4) 用途	3	/ - (集合住宅	成を目指している。道路拡	な幅及び安全かつ快通	適な歩行者空間を整備し、1F	
	用途					敷地内には公開空地、貫通配慮したまちづくりを目指して	
	用途			いる。			
EDD (用途		%	·住戸部分は全開口部、追 はRC200厚、又は乾式壁		シを採用。住戸境壁に関して	
ERR (設備システムの高効率化) 自然エネルギーの利用			70	・バリアフリー新法の建築	物移動等円滑化基準	[(最低限のレベル)を満足。	
			MJ / 年	階高2960mm2重床、2重容易な計画となっている。	三大井にて計画。、天	井高さのゆとりと内装改修が	
	場光利用(太陽光パネルなど) ネルギー削減率		WIJ / 4	・相模銀座周辺地区まちて	づくり協定に基づいた	景観形成。広場、敷地内通	
	ドルキー削減率 場熱利用(太陽熱利用給湯システムなど)		MJ/年	路、植栽等の計画。 ・日本住宅性能表示基準	「5-1省エネルギー対	策等級」における等級3取	
太陽照利用(太陽照利用編/あクス) ななと) エネルギー削減率			%	得。		VAC XM ED (100) I XM ED J	
				潜熱回収型給湯器の採・節水コマ及び省水型機器		(剤を使用しない	
	也高効率機器等 場合は内容を自由記述欄へ記載) 	有			制対策をおこなってい	る。周辺に大き〈影響を与え	